

# 二・七の市



開催日：毎月2・7・12・17・22・27日  
 開催場所：上越市大町3丁目  
 時間：午前7時～正午頃まで  
 交通：えちごトキめき鉄道高田駅から徒歩10分  
 駐車場：本町3・4・5丁目駐車場(有料)

※朝市で商品をお買い上げいただいた方へ本町3・4・5丁目商店街駐車場の30分無料駐車券を差し上げています。朝市30分無料駐車券引換店の「のぼり旗」があるお店に駐車券と、朝市でお買い上げいただいた商品を提示いただくと、当日限り有効の30分無料駐車券を差し上げます。どうぞ、ご利用ください。



## 13師団の要望で始まった歴史薫る朝市

「二・七の市」は、高田に入城した陸軍第13師団の「兵隊に新鮮な野菜を食べさせたいので、定期的な市がほしい。」との要望に応え、明治43(1910)年10月に現在の本町2丁目で開催されたのが始まりです。

当時は、市民の利用はもちろん、軍の関係者が大量に品物を買っていたそうです。

昭和35年から現在の大町3丁目に移され、2と7のつく日に開設されています。市は地元の人たちの台所をうるおし、文化の薫りを訪ねて、全国各地からやってくる観光客にも人気があります。



# 三・八の市



開催日：毎月3・8・13・18・23・28日  
 開催場所：上越市中央2丁目[本町]・3丁目[荒川町]  
 時間：午前7時～正午頃まで  
 交通：えちごトキめき鉄道直江津駅から徒歩15分  
 駐車場：船見公園駐車場(無料)

## 港町の活気と開放感のある空間が魅力

直江津で開催している「三・八の市」は、明治44(1911)年5月に当時新橋区と呼ばれていた地域の実業青年会の発案で始まりました。

当初は5と9のつく日の開設でしたが、翌年から3と8のつく日の開設となり、また、開設場所も昭和35年に現在の中央3丁目(荒川町)に移転し、今日に至ります。

日本海に続く開設場所の通りの名称が「三・八通り」と呼ばれ、住民から親しまれています。

高田の市と比べると雁木がなく、道路幅も広い分、開放感があります。



# 四・九の市



開催日：毎月4・9・14・19・24・29日  
 開催場所：上越市大町4・5丁目  
 時間：午前7時～正午頃まで  
 交通：えちごトキめき鉄道高田駅から徒歩7分  
 駐車場：本町3・4・5丁目駐車場(有料)

※朝市で商品をお買い上げいただいた方へ本町3・4・5丁目商店街駐車場の30分無料駐車券を差し上げています。朝市30分無料駐車券引換店の「のぼり旗」があるお店に駐車券と、朝市でお買い上げいただいた商品を提示いただくと、当日限り有効の30分無料駐車券を差し上げます。どうぞ、ご利用ください。



## 雁木のある懐かしい町並みで買い物を楽しむ

「四・九の市」は、大正9(1920)年8月に現在の仲町2丁目付近の有志の発案で始まりました。一時は途絶えたものの、大正13年に現在の場所に復活し、今日に至っています。

「四・九の市」の舞台となる大町4丁目、5丁目は、雁木の町並みに並ぶ朝市です。

雁木は各家の軒先を出して歩道にした雪国独特の街づくりで、道行く人の歩行を楽にとという温かな思いやりから生まれたものです。

雁木を歩き、風情を楽しみながら旬の野菜、果物などを買うことができます。



# 一の目市



開催日：毎月1・11・21(※31日は開催せず)  
 開催場所：上越市柿崎区第3区・第4区  
 時間：午前7時～正午頃まで  
 交通：JR柿崎駅から徒歩5分  
 駐車場：海岸駐車場(無料)

## 充実した品ぞろえであたたかな雰囲気朝市

明治39(1906)年の日露戦争の戦勝記念として東郷元帥の名前からもじった「10・5(東郷:とうご)市」が始まりといわれています。

昭和38年8月に「一の目市」と名称を変え、現在に至っています。

開設場所は、住吉町交差点から海水浴場入り口までの約70メートルの間で開かれています。

他の市と比べると規模は小さめですが、野菜や果物、塩乾物、切り花など品ぞろえが充実しています。





さわやかな苦みが春を告げる「ふきのとう」です。古くから食用に利用されてきており、独特な香りと苦みを香辛料として使用したり、早春の食材として、てんぷら、和え物に利用されています。



天然の「なめこ」です。秋はやっぱりきのこがおいしい季節！ぬるぬるとした食感がたまりません。



朝市を歩いていたら、人だかりに遭遇。「何だろう？」と思って近付くと、甘くていい匂いが立ち込めていました。目の前で作ってくれるアンコたっぷりの「どら焼き」は、朝市でも人気の高い商品の一つ。1個40円という安さも人気に拍車をかけています。

# 朝市おもしろ発見

朝市には様々な店が立ち並びます。

お店の数だけ他では味わえない人との出会い、新しい発見があります。

そんな朝市の出会いや発見に触れてみませんか？

「朝市おもしろ発見」は実際に出会い、

発見した中からいくつかを紹介するコーナーです。



色とりどりの種類がある「シクラメン」の鉢物です。上越の朝市には「鉢植え」を取り扱ってる店も多く、鮮やかな花の多さに眺めるだけでも飽きさせません。



「ミニトウガラシ（魔除け）」です。昔から上越地域ではトウガラシを魔除けとして使用する風習があります。店には「魔除け」を購入したお客さんから送られてきたというイラスト入りのハガキが並んでいました。おばちゃんの宝物だそうです。



特有の香りとさわやかな辛さが特徴の「みよがが」です。山地にも自生するみよががは、古くから食用として利用され、蕎麦や冷奴などの薬味や酢の物、味噌汁の具として食されています。



「お菓子」がたくさん！これだけたくさんのお菓子が並ぶと大人でも思わず覗いてみたくなりますね。金額も激安で、スーパーには売っていないなつかしいものばかりです。



八珍(はっちん)と呼ばれている柿です。写真右のカゴに入っているのが「さわし柿用」、左が「干し柿用」です。まさに秋の味覚の代表的な食べ物です。(※「干し柿用」はつるしやすいように枝をつけてあります。)



とれたて新鮮野菜がどっさり！おばちゃん自身がいつも食べているものだそうです。生で食べてもおいしいそうで、その証拠に常連のお客さんが店の前で品選びをしていました。